

## 差別的取り扱い

鉄道会社は、旅客や荷主の負担力に応じて運賃を課したために、小口荷主より大口の荷主に割安な運賃を付け、ときには大企業の貨物を優先して運んだ。さらに、農場経営が機械化されるに従って大企業の製品を購入し、生産された作物や家畜の価格は投機家によって操作されることになっていた。そのため、中西部の農民たちは鉄道などの大企業の横暴に対し、グリーンジ運動を展開して、連邦政府に反トラスト法の法制を要求することになる。

運賃規制は、自然独占性を持つ鉄道事業者に地域独占を認める代わりに、独占的な地位を利用して差別的な運賃設定をさせないことを目的に導入された。

1つの市場には1つの価格…一物一価の法則  
同一市場に別運賃を設定すると差別運賃。  
市場差別を前提とするから…

スカイライナーと北総列車が別市場  
であることは明瞭  
北総列車と京成特急は密接に関連  
した隣接市場でグレーゾーン

市場メカニズムの働く分野 → 価格が柔軟に変化して需給を調整

市場メカニズムが働かない分野 → 価格調整機構が働かないため、政府による規制が必要